

小学校 中 学年<4- (4)>

学 年	4年	時 間	学級活動(帰りの会等の短学活) 「気をつけて! 激しい雨や風」4年②	時 期	6月~7月 または適時	時 数	20分~25分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や強風がもたらす大規模な風水害によって、自分の身の回りに起こる災害の危険について知る。 大雨や強風などに関する気象情報を注意深く聞き、危険を回避して安全に行動することができるようにする。 						
資料・準備	スライド(文科省防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)高学年・風水害)、前時記入のワークシート(文科省CD-ROM内)、前時の通学路地図						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 大雨や強風などによる風水害について学習することを 知る。 スライド1~4を提示</p> <p>◇(昨日)の学習を思い出してみましょう。いろいろな危険がありましたね。</p>	<p>○(昨日)記入したワークシートや通学路地図に目を通し、危険な点を思い出す。</p> <p>○グループ(地区別)で確認させる。</p>
展 開	<p>2 台風(大雨、強風)による危険からどのように身を守ればよいか考える。</p> <p>◇けがをしないためには、どう行動するのがよいかグループで話し合い、ワークシートに書きましょう。</p> <p>◇グループで話し合ったことを、代表が発表してください。</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 用もないのに外に出ない 一緒にいる大人の指示に従う 学校や家の近くで危ないところを知っておく <p><大雨のとき></p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水しているときは足元に気を付ける がけや山肌など危ないところに近づかない <p><強風のとき></p> <ul style="list-style-type: none"> 落ちてくるもの、飛んでくるものに気を付ける (雨と風のとき)カッパを着る <p><雨が上がった後></p> <ul style="list-style-type: none"> 川や水路に近づかない ぬかるんだ道や路肩などに気を付ける <p>◇前時にグループで見つけた学校の近くや通学路の具体的な危険場所や状況について考えてみましょう。代表が発表しましょう。</p> <p>3. ふだんから災害に備えて天候に関心を持つことが大切であることを理解する。</p> <p>スライド5を提示</p> <p>◇災害から身を守るために、ふだんから注意できることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 天気に関する情報を注意深く聞く 天候に注意し、天気の悪い時はむやみに外に出ない 	<p>○けがをしないためにはどうしようと思うかグループで話し合い、結果をワークシートに記入させる。</p> <p>○グループで話し合い記録したことを、代表に発表させる。</p> <p>○スライド2~4の絵を見せながら、よい身の守り方を説明する。</p> <p>○前時にグループで見つけている学校の近くや通学路の具体的な危険場所や状況について、代表に説明させる。</p> <p>○具体的な危険場所や状況について、みんなで話し合う時間をもった後、教師がよりよい身の守り方について補足する。</p> <p>☆災害に応じた身の守り方があることに気付いたか。</p> <p>○テレビの天気予報を視聴して思ったことを話させたい。</p> <p>☆天候についてふだんから関心を持つことの大切さを理解できたか。</p>
ま と め	<p>3 災害に応じて身を守るために大切なことを確認する。 スライド6を提示</p> <p>◇台風や大雨、強風のとき、大切なことを確認しましょう。</p>	<p>○災害に応じた対応を確認する。</p> <p>○気象の変化を早めに発見し、安全に行動できるように指導する。</p> <p>☆ふだんから風水害に関心を持って、安全に行動する姿勢が身に付いたか。</p>

関連する 教科・領域等	(社会)「水はどこから」「郷土を開く『水害を防ぐ』」 (短学活)「気をつけて! 激しい雨や風」4年①
協力団体	